

MCN 経営寺子屋第11回「社会を動かす物流最前線」

2016年9月18日

創発倶楽部PLATFORM南青山とマネジメント共育ネットワークが共催する第11回経営寺子屋は9月14日、株式会社物流革命の村山 修社長をお招きして「ロジスティクスの現状」をテーマに基調講演をいただきました。

講演ではまず、花王、トヨタ、ダイキン、小松など様々な業界のロジスティクスの事例が紹介され、その優劣が企業の業績に直結していることが明確に確認されました。これらの優良企業はロジスティクスを他人任せにせず、自分の頭でとことん考え、決めたことを隅々まで徹底していることが共通点といえます。

また「物流」「ロジスティクス」「サプライチェーン・マネジメント」の違いが解説され、それへの取り組みが必須であることを強調されましたので、我が国企業の全般的な立ち遅れも浮き彫りになりました。

さらに村山氏は最重要経営課題としてのロジスティクスに触れ、担当組織が社長の直下で全体を見渡せる所に位置し、しかもその責任者の継続性が必須であるという最重要ポイントを指摘されました。



講演に続く質疑応答では、現場の人出不足、女性の活躍、我が国でのトラック偏重、海外の先進事例など数多くの質問が出ましたが、豊富な経験や知識を基に、一つひとつに納得性の高い回答がなされました。

最後に司会が、その重要性に見合った人材配置と、「商流」「物流」「情報流」の三位一体を強調し、全体を締め括りました。

(以上)